

歌舞伎衣裳の名品展



正月飾模様縫打掛
[しょうがつかざりもんようぬいうちかけ]



枝垂桜文様着付
[しだれざくらもんようきつけ]



唐花唐草石畳文様直垂
[からはなからくさいしだたみんようひたたれ]

三越は、明治40年(1907年)歌舞伎座太夫元より芝居衣裳一切を引き継ぎ、三越衣裳部を新設しました。その後、注文に応じて、衣裳専門の特別仕立てによる製作・調製・着付などを昭和20年代まで行っていました。このたび新川さくら館では、歌舞伎界の劇聖と謳われた九代目市川團十郎をはじめ、六代目尾上菊五郎、七代目松本幸四郎など当時の名優たちが、実際に着用した貴重な歌舞伎衣裳6点を特別展示いたします。新川千本桜のお花見のひととき、お誘い合せの上ご来館下さいます様お待ち申し上げます。

(展示品は予告なく変更になる場合があります)

日時 2014年 4月1日(火)～4月6日(日) 午前10時から午後6時まで

(初日は午後1時より)

場所 新川さくら館 多目的ホール 入場無料

(どなたでもご入場できます)

東京都江戸川区船堀7丁目15番12号 電話03(3804)0314

徒歩の場合 都営新宿線「船堀」から徒歩16分

バスの場合 錦25(葛西駅～錦糸町駅)「三角」または「船堀七丁目」下車徒歩3分
平23(平井駅～葛西駅)「三角」下車 徒歩3分

お問い合わせは
江戸川区【新川さくら館】電話 03(3804)0314

